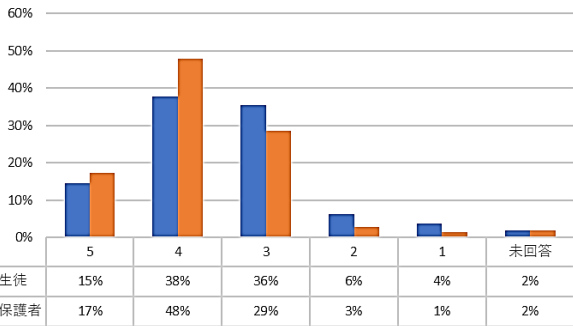


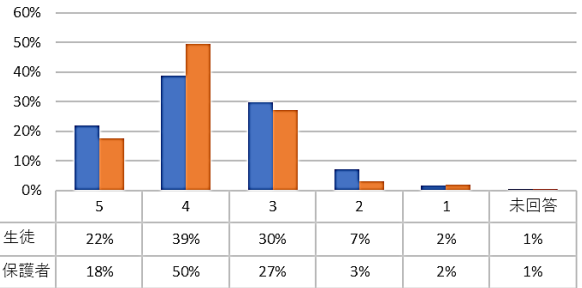
令和年度 学校評価アンケート (生徒/保護者)

5. そう思う 4. だいたいそう思う 3. どちらともいえない
2. あまりそう思わない 1. そう思わない

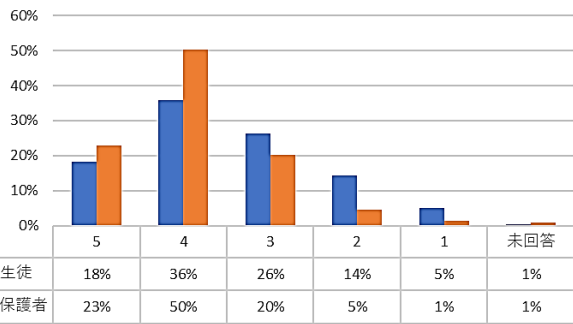
1. 学校の特徴は分かりやすいと思いますか。



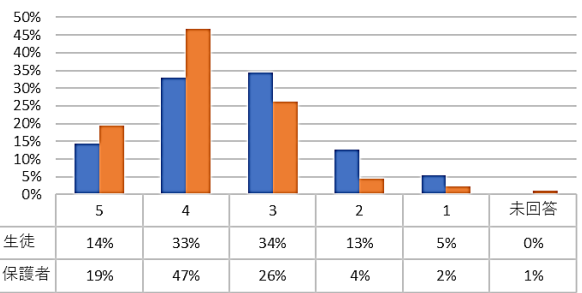
2. 学校は健康面・安全面においてきちんとした対応がなされていると思いますか。



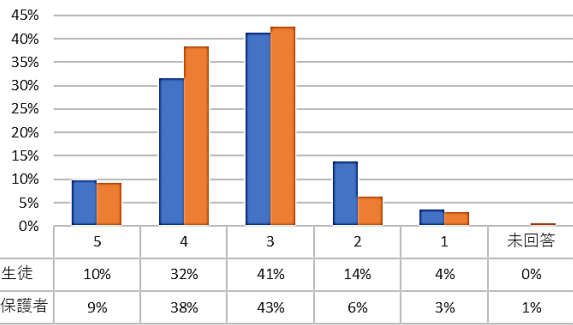
3. 学校の施設・設備等は整っていると思いますか。



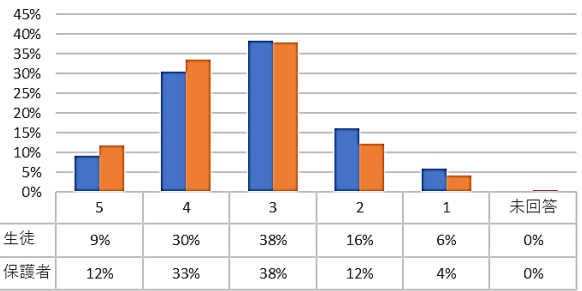
4. 先生は子どものことをよく考えている学校だと思いますか。



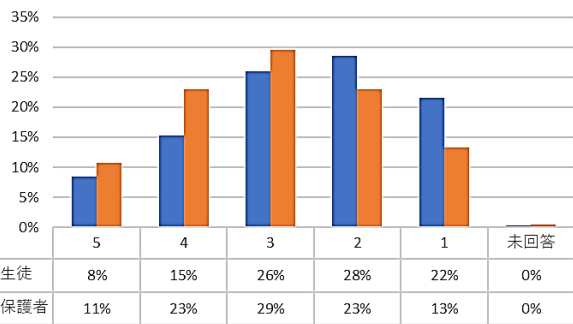
5. 授業は丁寧でわかりやすいと思いますか。



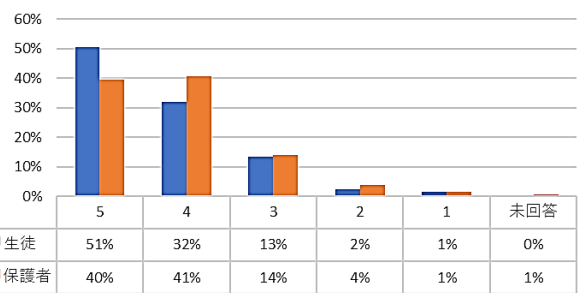
6. 子どもは授業を通じて、確実に学力がついていると思いますか。



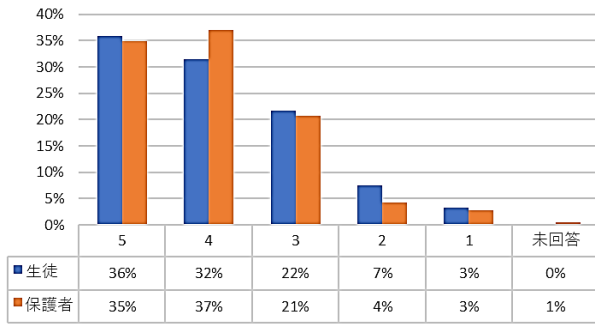
7. 子どもは家庭学習をきちんとしていますか。



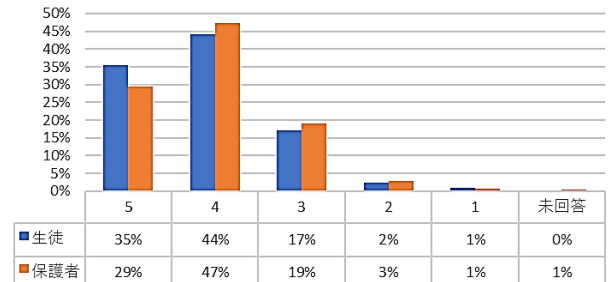
8. 子どもは友人と仲良く学校生活を送っていると思いますか。



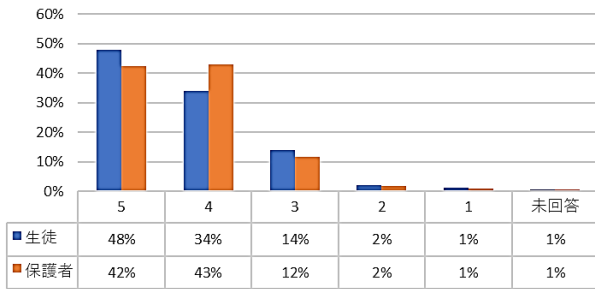
9. 子どもは学校が楽しいと思っていますか。



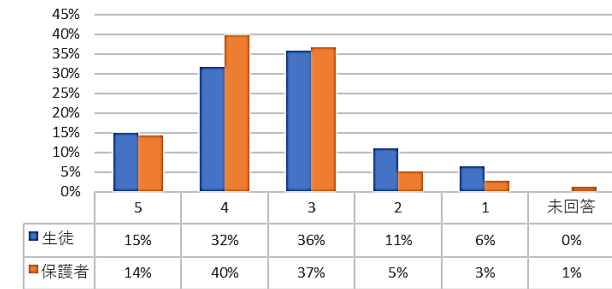
10. 子どもは礼儀や挨拶がきちんと出来ていると思いますか。



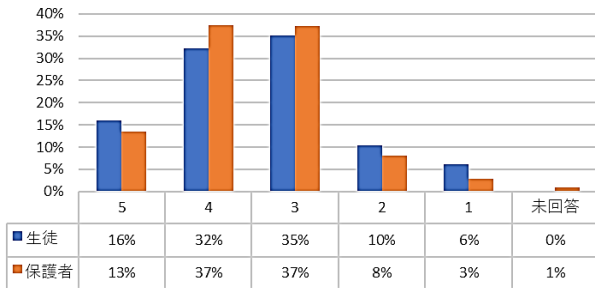
11. 子どもは校則やきまりをきちんと守っていると思いますか。



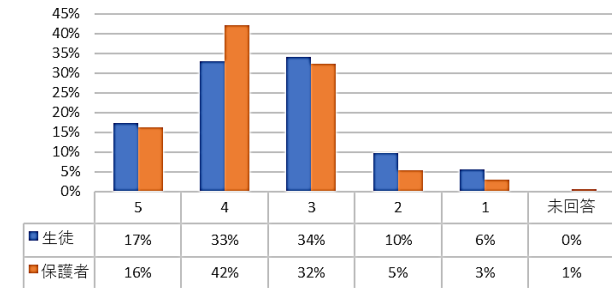
12. 学校は人権教育やいじめ防止などの指導が出来ていると思いますか。



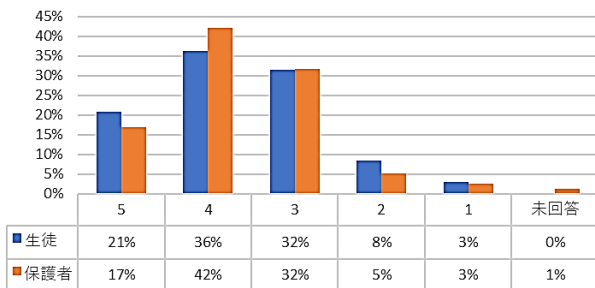
13. 学校は子どもの悩みなどの相談によってくれる体制が出来ていると思いますか。



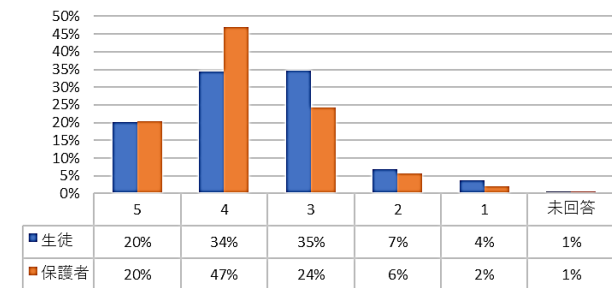
14. 学校の生徒指導は子どもを大切にしながら熱心に行われていると思いますか。



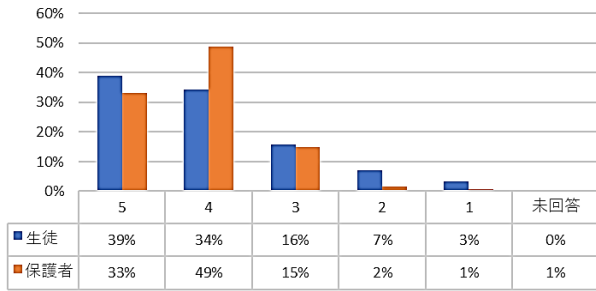
15. 学校の進路指導は一人ひとりに役に立つように行われていると思いますか。



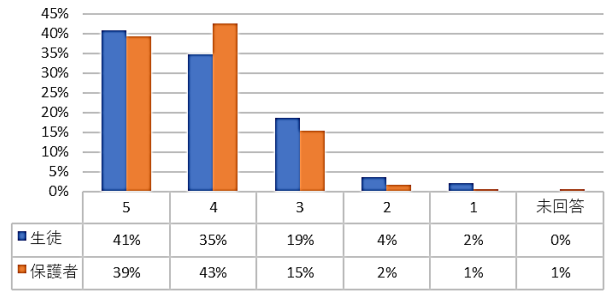
16. 学校は配付物や電話などを通して家庭とのつながりを大切にしていると思いますか。



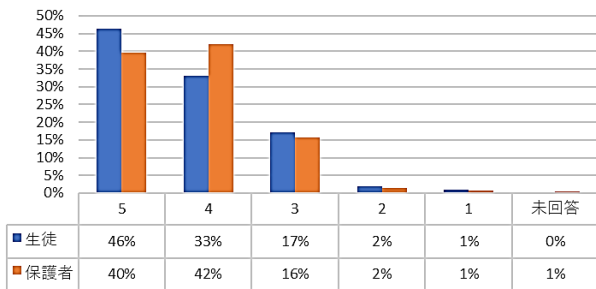
17. 体育祭・文化祭・クラスマッチなどの学校行事は充実していると思いますか。



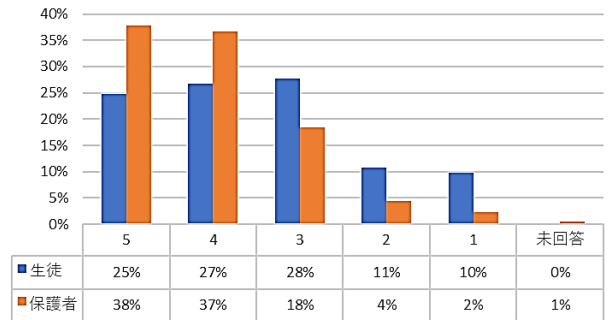
18. 子どもは学校行事に積極的に取り組んでいると思いますか。



19. 学校の生徒会活動や部活動は活発だと思いますか。



20. 慶誠高校を選んで良かったと思いますか。



○“質問1”については、生徒53%、保護者65%が回答（5・4）を選択している。

○“質問2”については、生徒61%、保護者68%、“質問3”については、生徒54%、保護者73%しか満足していない。本項目については、きちんと100%を目指して取り組んでいかなければならないと強く考える。また、熊本地震の経験を活かして、災害時の避難方法や避難場所の確保、各家庭との連絡等、さらに充実した安全管理・教育が出来るよう徹底を図っていききたい。

○“質問4”については、回答（2・1）と答えている生徒及び保護者がおられるということを真摯に受け止め、生徒への対応を心掛けていきたい。

○“質問5・6・7”の学力に関する項目については、どれも、回答（3）が一番多い。学校生活の中心は学習活動である。この点において、「どちらともいえない」が3つの項目において、どれも一番多いということは学校として早急に対応すべき事項である。生徒一人ひとりが毎時間の授業をより集中して受けることができるように工夫した授業の展開を実施すること。また、家庭学習が定着するように生徒たちに学力を高める意義を理解させ、教科担当・学級担任で各家庭との連携を取り指導していききたい。

○“質問8・9”については、生徒・保護者共に回答（5・4）が多く、今後も安全安心で、生徒一人ひとりが居場所のある学校環境づくりを心掛けていきたい。

○“質問10・11”については生徒・保護者共に回答（5・4）が多く、どちらにおいても80%前後である。100%が達成できるようにさらに指導していききたい。

○“質問12・13”については、生徒・保護者共に回答（4・3）が多い。生徒にとっての高校生活3年間というものは多感な時期であり、今後の人生に大きく影響する時期である。これらの項目は、おろそかにすると不登校問題や進路変更等に繋がることでもあるため、学校全体として、取り組んでいかなければならない。教職員のみならず、スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーの援助も頂きながら、悩みをもつ生徒の問題解決に繋がるよう努力していききたい。

- “質問14・15”については、生徒・保護者共に回答（4・3）が多い。学校という教育の現場において、生徒指導と進路指導はその中核を成すものであり、生徒一人ひとりの基本的生活習慣と進路保障の確立を図るためにも、教職員はより一層の努力とその向上を目指していくべきだと考える。
- “質問16”については、保護者の回答（4）が多い。ただ、生徒の回答は（3）である。私たちの指導の対象である生徒らがそのように感じているということは、大きな改善点といえる。今後、生徒・保護者共に学校とのつながりが感じられないといったことがないように、しっかりと努めていきたい。
- “質問17・18・19”については、比較的高い数値を示している。これらは、生徒諸君の努力の結果である。今後、教職員も学習活動以外で、生徒が学校生活をいかに充実したものにできるかということを考え、サポートしていくかを常に考えていかなければならない。一人でも多くの生徒が、「学校が楽しい」「学校に行きたい」と思えるような環境づくりをしていきたい。
- “質問20”については、我々教職員の取り組みに対する評価だと受け止めなければならない項目である。保護者におかれては有難いことに、回答（5・4）を選択して頂き、75%という数値を示している。ただ、生徒は52%に留まっている。生徒回答（3）の「どちらともいえない」と感じている28%をどれだけ、良かったと感じさせることができるか。また、回答（2・1）と感じている生徒がなぜそう思っているのか。これをしっかりと追及して、より良い学校づくりを目指したい。